
慶太の青春(虐待より)

慶太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

慶太の青春（虐待より）

【Nコード】

N1492D

【作者名】

慶太

【あらすじ】

千代子と恋人同士になり普通の男の子として青春を味わっていた彼に現実の痛みが

痛み

休日は彼女と過ごすようになった。

お互いの知らない事も話すようになった

僕は『私の家族は皆面白いから』と

家族の事を笑って話す彼女が好きだった

何時しか彼女と体の関係を持った

そんな平日の昼の事だった

『最近、幸せそうだね』杉本さんが

僕を見て言ってきた『たまには俺等とも遊ぼうよ』

少し寂しそうに杉本さんが次に言った僕は「はい」と

素直に言った。その夜の事だった久しぶりに杉本さんと

遊ぶ約束をして夜の駅で待っていた暫くして杉本さんが車で

迎えに来た。『今日はいい所に連れってってあげるよ』と

車のドアを開けた僕に彼がにやけて言った。

着いた先は彼の友人のアパートだった

彼は自分の家のように玄関を開け灯りのついてない

家の中に僕を連れて行った。

廊下の奥から女の喘いでる声が聞こえる

何処かで聞いた声だ彼は戸の隙間から僕にその光景を見せた

其処には『慶太とどっちがいい？』と問う杉本さんの友人と

僕の知らない本当の彼女がいた

次の瞬間、大きく戸を開けた其処には

ベットの所で喘ぎながら僕を見る彼女がいた

僕の頭の中に母が蘇るアイツと一緒にだ

心の中で言葉が呟いた杉本さんが僕の肩を叩いて

『これがこいつの正体』彼は怒る気力も失せた

僕の顔に煙草の煙を吐いてこう言った『実はさー賭けてたんだよね
でもホント簡単にお前が落ちちゃったし可哀想じゃんだから夢から

覚ましてあげたの』

僕は最初から彼らに遊ばれたんだ次の瞬間煙草が床に落ちた

僕は彼の首を絞めていた彼の友人が止めに入ったその光景の後ろに千代子がいた

そして彼女は着れる服だけ来て『匡彦が悪いんだから』と吐き捨てると賭け金を

握りしめ逃げって行った。

僕は2対1でボコボコにされた

そして、『真実おしえてあげたんだからこの事、誰かにチクったらただじゃ置かないよ』

口が青く腫れて腹を蹴られて倒れている僕の顔に唾を吐き捨て玄関の戸を思いきり蹴り『あのアマ何処行った？』

と外に出ていく奴等の背中に僕は泣きながら「畜生」と吐いた
続く

痛み（後書き）

短く終わらせるつもりです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1492d/>

慶太の青春(虐待より)

2010年10月12日03時58分発行